

助成受給団体名	ふりがな しわちくちいきあんぜんすいしんきょうぎかい 紫波地区地域安全推進協議会
事業の名称	安全・安心まちづくりフォーラム 空から支援！地域の安全
実施期間	「覚書」第2条で定めた期間を書いてください。 平成26年 8月 1日 ～ 平成 26年 11月 30日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
<p>1 フォーラムの内容</p> <p>(1) 会場:都南文化会館キャラホール</p> <p>(2) 参加者:講師1名、郷土芸能3団体70名、高校生スタッフ13名、大人スタッフ他29名 入場者約500名</p> <p>(3) オープニング 盛岡市 下永井獅子踊り</p> <p>(4) 基調講演 「波濤の果てに」講師 岩手県警察航空隊 村山真寿雄 氏</p> <p>(4) アトラクション ① 紫波町 佐比内金山太鼓 ② 矢巾町 高田念仏剣舞</p> <p>2 子どもを守る地域安全マップコンクールの実施</p> <p>(1) 5小学校などから10枚のマップの応募がありました。</p> <p>(2) 役員及び教育委員会などで厳正に審査し、会長賞、署長賞、特別賞の3点を表彰しました。</p> <p>(3) マップ10枚は、当日会場のホワイエに展示しました。</p> <p>3 地域安全アンケートの実施 今後の活動の参考とするためフォーラムへの意見及び安全な暮らしについてのアンケートを実施しました。</p> <p>(1) 回収枚数72枚 (2) アンケートのまとめ(別添のとおり)</p>	
事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
<p>①昨年の大物講師の影響で会場の入りに懸念を抱いていましたが、各市町村の協力などにより、多くの来場者が訪れ、震災時の空からの映像に驚愕しながらも誠実な講師のお話により多くの人が感動し、生きる希望を与えることができました。</p> <p>また、みんなで意思統一をしながら地域の安全を守っていく意識啓発につながりました。</p> <p>②震災後、ふるさとを離れて生活する被災者が、故郷の映像を見て懐かしさを感じ、癒しの場となることができました。</p> <p>③高校生がスタッフとして参加。地域の人達と一緒に活動する事で、良好な人間関係が保たれました。</p> <p>④コミュニケーション不足の地域の絆を深めるためのフォーラムにスタッフ含め600人も人の心が一つになったことから、地域の絆を深めることができました。</p> <p>⑤地域安全マップコンクールのために多くの児童が地域の大人の人たちと自分たちの通学路や地域の中を探検して歩き、地域に愛着を持った他「危険箇所の把握」などの実体験により、防犯意識が強まりました。</p>	
今後の課題	
アンケート内容にもあったように、今後も一堂に会し、このようなイベントの希望が強いことから、目的を持ったイベント開催を企画することの課題が発生しました。	

